



EC 事業者が乗り出した 遺品整理事業の立ち上げを伴走支援

課題

競争が激しいEC 市場とは別の事業を模索

株式会社タムラエージェントは、2019年5月に創業したばかりの生前整理・遺品整理を行う会社で、もともと中国などから商材を仕入れてインターネットで販売するEC事業を営んでいる経営者が、新規事業として新たに設立。ECの実績やノウハウを使って、整理事業で発生した不用品の買取や販売も行っている。

小田原市橘商工会が支援することになったきっかけは、経営者が伴走型小規模事業者支援推進事業で開催した事業計画策定ゼミに参加したことだった。聞けば、EC市場は競争が激しく、リスクも大きいため、それとは別の事業として、「片付け屋」ビジネスに取り組みたいという。つまり、それが遺品整理業だった。

ターゲットは高齢者と、その子ども世代。近年、神奈川県内では、「生前整理」というキーワードがトレンドのように使われ始め、また、小田原市を中心とした神奈川県西部は、高齢者のなかでも、顧客となりうる「孤立の高齢者」の割合が多く、事業として商機があると考えられた。

そこで、商工会では、新事業の立ち上げを支援。事業計画策定の勉強会や、既存事業の経営状況分析などの支援を重ね、3年間の中期事業計画と10年後の目標を定めることができた。

支援

市場の開拓を最優先に顧客獲得のためのPR

事業計画を策定するうえで、商工会では、経営理念や経営ビジョンなどの内部環境分析と、地域や競合などの外部環境分析を行うとともに、SWOT分析からビジネスの方向性や課題を抽出。事業拡大に関する施策の検討やワンストップサービスの充実化、さらには地域貢献に関する施策（障がい者雇用など）の検討までアドバイス。そして、創業1年目の行動計画の策定を支援した。

新ビジネスでは、市場の開拓が最優先課題である。しかも、生前整理・遺品整理は、顧客を獲得するために、いかに信頼関係を築けるかがポイントとなる。

そのため、創業1年目の計画は、ホームページやチラシの活用、これまでの経営者の人脈を活かした企業との連携によ



遺品整理事業「おかたづけタムラ」の経営者（前列左）とスタッフ

る集客を行い、自社の商談ルームでの見込み客への相談対応などを行うこととした。

その後は、1年目の実績をもとに整理事業との関わりが深い葬儀会社や解体事業者、保険代理店なども提携したセミナーを開催するとともに、行政にアプローチして共同イベントを開催するなどして信頼性を高める計画だ。

商工会ではその後、2019年10月の事業承継もサポート。事業承継センターと連携し、専門家の指導を受けながら事業計画や資金計画の作成を支援した。

支援の経過

期間	支援内容
2018年7月～ 2019年2月	伴走型小規模事業者支援推進事業による 中期事業計画の策定支援
2019年7月～	事業計画策定後の支援

会社概要

会社名：株式会社タムラエージェント
住所：神奈川県小田原市中村原474-26
電話番号：0465-25-6176
代表者名：田村竜之
創業年：2019年
従業員数：0名
商工会名・担当者名：小田原市橘商工会・周東博